

## 第4学年 総合的な学習の時間（ウミネコ学習）学習指導案

日時 平成16年10月15日（金）5校時  
対象 4年1組 男子23名女子15名計38名  
指導者 佐々木 貞明  
場所 4年1組教室

### 1 単元名 みんな友だち

### 2 単元について

#### (1) 単元について

少子化は、現代の社会問題の一つである。そして、遊び場が減少し、遊びの種類も変化している。子どもたちは、他者と触れ合う機会が少なくなり、対人関係の力が弱まっている。そのことから、他者と触れ合う機会を意識的に設定することが、学校においても必要であると考えられる。

また、福祉に対する一般的な考え方も、与える福祉（してあげる）から、分かち合う福祉（共に生きる）へと変わってきている。

そこで、他者との触れ合いの場である、はまなす学園との交流をとおして、障害をもつ人たちの存在に気づかせ、互いの存在を認め合い、共に生きていこうとする意識をもたせたいと考え、本単元を設定した。

#### (2) 児童について

子どもたちは、活発で、外で活動することが好きである。そして、自分がやりたいことに集中して取り組む子が多い。

はまなす学園は、船越小学校区にある知的障害者の施設であるが、施設を訪問したり、施設の人たちと話したりしたことがある子はほとんどいない。この時期の子どもたちの世界は、ほぼ身近な友人関係を中心に構成されているといわれるが、障害を持つ大人の人と日常的に接する機会はあまり多いとはいえず、はまなす学園も学区内にあるのだが、子どもたちにとっては身近な存在ではない。

本単元では、はまなす学園との交流をとおして、一人一人が互いに支え合い、関わり合いながら生きていることに気づくきっかけにしていきたい。

#### (3) 活動の構想

本単元は、「はまなす学園の人たちを、学校にしょうたいしよう。」というテーマで活動を進めていく。

「つかむ」段階では、はまなす学園について知っていることや思っていることを話し合わせ、その後、はまなす学園の職員の方から、はまなす学園についての概要を話していただく。その中で、はまなす学園の人たちの様子や、どのようなことができるかということ等も話してもらい、交流の計画を立てるときの参考にさせていきたい。次に、交流したい内容によってグループ分けをし、交流の計画を立てさせる。「つかむ」の段階での振り返りでは、グループ毎に計画を発表し意見を交流する場を設定する。他のグループの計画や自分たちの計画に対するアドバイスから、はまなす学園の人たちが楽しめる計画になっているのかを、もう一度考えさせたい。

「追求する」段階では、交流のための準備活動に取り組みさせる。グループで必要なものを準備したり、全体に関わるものを作ったりさせる。このとき、子どもたちで準備できない材料や道具は事前にそろえておき、スムーズに作業ができるようにしておく。また、準備したり作ったりするものが、はまなす学園の人たちも楽しめるものなのかを考えさせながら作業を進めさせる。リハーサルの後にはまなす学園の人たちを学校に招待して交流する。「追求する」段階での振り返りでは、交流の後に一人一人に感想を書かせる。自分が思っていたとおりの交流になり、はまなす学園の人たちも喜んでいただけなのかについて書かせ、自分たちの計画の目標が達成されたのか達成されなかったのかを考えさせたい。

「表す・広げる」段階では、今までの活動や、活動をとおして思ったことや考えたことを個人新聞にまとめさせる。ここでは、国語の単元（「伝えたいことをはっきりさせて書こう」）で学習したことを参考にさせる。互いの発表を聞き合い、「共に生きる」ことを考えさせる場に

していきたい。「表す・広げる」の段階の振り返りでは、オリエンテーションに時点での自分の考えと、交流後の自分の考えを発表し合う。今後、障害を持つ人たちとどのように関わっていけばよいのかを考えさせ、互いの成長を認め合う場にしていきたい。3学期の国語の単元（「伝えよう、わたしたちの心」）では、本単元で学んだことを振り返りながら、「共に生きる」ということを考えさせていきたい。

### 3 単元の目標

#### 【関心・意欲・態度】

- ・ 交流の内容を考え交流の準備をし、進んではまなす学園の人たちとの交流しようとする。

#### 【思考・判断】

- ・ 障害を持つ人たちの存在に気づき、はまなす学園の人たちが楽しめる交流の仕方考えることができる。

#### 【技能・表現】

- ・ 自分が活動した内容や、活動をとおして思ったことや考えたことを、個人新聞にわかりやすくまとめることができる。

#### 【知識・理解】

- ・ はまなす学園の施設と、学園の人たちの様子を知ることができる。

### 4 単元の指導計画（20時間）

段階	活動内容	教師の支援	評価規準（評価方法） 【関】 関心・意欲・態度 【思】 思考・判断 【技】 技能・表現 【知】 知識・理解	身につけたい力 （船小6力）
つかむ (6)	1 オリエンテーション・・・1 ・ はまなす学園について知っていることや思っていることを話し合う。  《全体課題》 はまなす学園の人たちを、学校にしようたいしよう。	・ はまなす学園の人たちの様子や、どのようなことができるのか等、子どもたちが知ることによって交流の計画を立てるときに参考になる内容を話してもらおう。 ・ はまなす学園の人たちができ、楽しめる内容なのかを考えさせ、他のグループの意見も参考にさせながら、交流の計画を立てさせる。	【関】 進んで自分の考えをもち、発表しようとしている。 （見取り・聞き取り学習カード）  【知】 はまなす学園の施設と、学園の人たちの様子を知ることができる。（学習カード）  【関】 自分の目標や意図をもって交流会の計画を立てようとする。（見取り・聞き取り学習カード） 【思】 はまなす学園の人たちのことを考えて交流の計画を立てることができる。（学習カード）	身につけたい力 （船小6力）  総合された知識  課題発見能力
	2 はまなす学園の職員の方から話を聞く。 ・・・・1 ・ はまなす学園の概要を知る。  3 交流会の計画をたてる・・・4 ・ どんなことをしたいのかを話し合う。(1) ・ グループに分かれて計画を立てる。(2) ・ 計画したことを発表し、意見交流する。(1) 《本時》			

<p>追求する (7)</p>	<p>4 交流の準備をする。・・・5          ・グループで準備する。(2)            おにごっこ            昔遊び            ゲーム          ・全体に関わる準備をする。(2)            飾り付け            招待状            プログラム          ・交流会のリハーサルを行う。(1)            進行            活動場所の確認</p> <p>5 はまなす学園の人たちと交流する。・・・2          ・はまなす学園の人たちを学校に招待し、計画に沿って交流する。          ・交流しての感想を書く。</p>	<p>・必要なもので、子どもたちが準備できない材料や道具は事前にそろえておく。          ・一つのものでも、それが、はまなす学園の人たちが喜べるものなのかを考えさせながら作業を進めさせる。</p> <p>・交流の内容については、はまなす学園の職員の方と事前に確認し、予想される反応を把握しておき、思いどおりに交流できないグループに助言する。</p>	<p>【関】 計画に沿って、必要なものを作ったりそろえたりしようとする。          (見取り・聞き取り 学習カード)          【思】 目的に合ったものを作ったりそろえたりすることができる。(学習カード)</p> <p>【関】 はまなす学園の人たちと進んで交流しようとする。          (見取り・聞き取り)          【思】 交流の内容や仕方を工夫することができる。(見取り・聞き取り 学習カード)</p>	<p>問題解決能力          思考・評価力</p> <p>問題解決能力          思考・評価力</p>
<p>表す・広げる (7)</p>	<p>6 交流したことをまとめる。・・・5          ・交流して思ったことや考えたことを個人新聞にまとめる。</p> <p>7 これまでの活動を振り返る。・・・2          ・これまでの学習活動を振り返って、自分たちが学んだことを話し合い、障害を持つ人たちとどのようにかかわっていかばよいか考える。(1)          ・お世話になった方々にお礼の手紙を書く。(1)</p>	<p>・国語の単元(「新聞記者になろう」)を参考にさせる。</p> <p>・オリエンテーションの時点での自分の考えと、交流後の自分の考えを比べさせる。</p>	<p>【技】 今までの活動や活動をおおして考えたことを、レイアウトや見出し、記事の内容を工夫してわかりやすくまとめることができる。          (見取り・聞き取り 発表資料)          【思】 学んだことや身につけた力を、自分の成長ととらえたり、周りの人の長所を認めたりすることができる。          (見取り・聞き取り 学習カード)</p>	<p>表現・創造力          自信・成長力</p>

5 本時の指導

(1) 目標

【思考・判断】

- ・他のグループの発表やアドバイスを参考にし、はまなす学園の人たちに喜んでもらえる内容になっているかについて、自分たちの計画を見直すことができる。

(2) 展開

段階	活動内容	教師の支援と評価	備考
つかむ (5)	1 前時を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">交流会の計画を見直そう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の計画を考えたことを振り返らせる。</li> <li>・互いにアドバイスし合って、交流の計画を見直す時間であることを確認し、本時の活動の意欲化を図る。</li> </ul>	・学習カード
追求する (30)	3 計画を発表し、他のグループの計画について意見や感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに楽しめる内容か。</li> <li>・場所や時間に無理はないか。</li> <li>・準備するものはそろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことをしたら、はまなす学園の人たちはうれしいのかを考えさせる。</li> <li>・聞き手にわかりやすい発表の仕方でさせる。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A 他のグループの発表やアドバイスから、自分たちの計画を見直すことができ、他のグループに対する自分の考えを発表することができる。</p> <p>B 他のグループの発表やアドバイスから、自分たちの計画を見直すことができる。</p> <p>※ 前時までの活動の記録と他のグループの意見等から考えるように声がけをする。</p> </div>	・学習カード
まとめる (10)	4 本時の活動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードに記入し、発表する。</li> </ul> 5 次時の活動の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードで振り返らせる。</li> <li>・今後の活動に向けた意欲付けをする。</li> </ul>	・学習カード

(3) 評価

【思考・判断】

- ・他のグループの発表やアドバイスを参考にし、はまなす学園の人たちに喜んでもらえる内容になっているかについて、自分たちの計画を見直すことができたか。